

今回の総選挙では
共産党が批判勢力と
して躍進（8から21
議席）したが、これ



は「自民党より右」を標ぼう
した次世代の党の壊滅的敗北
（20から2議席）とセットで
見るべきだろう。

民主党など主要野党が十分
な反自民の受け皿となれない
なか、最左翼の共産党の伸び
は予想された。しかし最右翼
の次世代の党にも私は注目し
ていた。日本社会の右シフト
が言われるなか、自民党より
右が確固とした一塊の政党と

西川 恵

kin-gon

金言

して、民族主義的な過激な主
張を掲げて選挙を争う初のケ
ース。加えて欧州諸国では左
翼に代わり極右政党が政権へ
の批判・不満層の受け皿にな
っている事実がある。

欧州では共産党は一部の国
で細々と続くが、多くが解党
・分裂した。かつての左翼支
持の労働者、若者らはそうし
た左翼に幻滅し、保守政党を
飛び越えて極右政党に投票し
ている。5月の欧州議会選挙
で、英、仏、デンマークの極
右政党が国内第1党になった
ことは記憶に新しい。

日本にぬれ振る最右翼

しかし総選挙で次世代の党
から当選したのは長い国会議
員歴をもつ平沼赳夫党首と園
田博之氏の2人のみだった。

これは一つに、有権者の常識
的な健全さが示された結果と
思われる。選挙中、同党は「生
活保護で外国人は日本国民の
8倍」という不正確で扇動的
な広報ビデオをネットで流
し、差別的なヘイトスピーチ
を口にする在特会の幹部も同
党支持を表明した。こうした
ことへの有権者の拒否だ。

右に政党の存在空間を与えな
かった。欧州の場合、極右政
党が保守党の地盤を侵食し、
保守党は極右政党の主張（移
民への厳しい措置など）の一
部を取り入れることで支持奪
回に懸命だ。しかし自民党は
次世代の党が敗北したため、
より右の世論に大きな考慮を
払う必要がなくなった。

一方、共産党は批判・不満
の受け皿としての有効さを改
めて示した。ただ今後、同党
はどのように支持の地平を広
げていくのだろうか。さまな
ければ政権に対する不満が強

い時は伸び、そうでない時は
縮むというこれまでのパター
ンを繰り返すことになる。

社民党は風前のともしびで
左翼の政治空間に大きな空洞
が生まれている。ここを共産
党が埋め、日本の政治に渦を
作り出せるかどうかは、同党
がいまだ残るドクマ（教条的
な理論）を払拭し、市民政
党に脱皮できるかどうかにか
かっている。左翼に失望した
票が振り子のように極右政党
に振れる欧州を知っておくべ
きた。

（客員編集委員）